

# 令和3年度 すみだ文化芸術活動助成金 募集要項

## <申請期間>

令和3年1月4日(月)～1月29日(金)

※申請書類の提出方法は、郵送のみです。

## <提出先>

〒130-0013

東京都墨田区錦糸1-2-3

公益財団法人墨田区文化振興財団 助成事業担当

## <お問合せ先>

電話：03-5608-5446

Eメール：artsupport@sumida-af.or.jp

## <注意事項>

本助成金は、墨田区からの補助金を原資として実施するものです。  
令和3年度の予算の成立状況によって、募集内容が変更になる場合があります。

## 目次

1.	はじめに	1
2.	申請できる団体（助成対象団体）	1
3.	対象となる事業（助成対象事業）	1
4.	対象とならない事業	1
5.	助成対象となる経費（助成対象経費）	1
6.	助成金の額	2
7.	申請に必要な提出書類	2
8.	提出方法と申請受付期間	2
9.	スケジュール	3
10.	申請書類の確認、助成事業の選考	3
	（1）申請書類の確認	
	（2）書類審査	
	（3）ヒアリング	
	（4）最終選考	
	（5）助成団体の内定	
11.	助成事業の実施にあたっての留意点	4
	（1）事業実施の留意点	
	（2）財団の調査等	
	（3）助成決定後の事業内容の変更・中止	
12.	助成事業の報告、助成金交付額の確定	5
	（1）実績報告書の提出	
	（2）助成金交付額の確定	
	（3）助成金の交付取消し・返還	
13.	助成事業の実績の評価	6

## <資料編>

資料1	交付申請書（第1号様式）の記入例	6
資料2	事業実施計画書（第2号様式）の記入例	8
資料3	収入内訳・支出内訳（添付1号様式）の作成手順と事業収支予算書（第3号様式）の記入例	10
資料4	団体の代表者及び会員の氏名及び住所を記載した名簿（添付2号様式）の記入例	14
資料5	団体の直近の事業報告書及び収支決算書（添付3号様式）の記入例	16
資料6	団体の助成対象年度の事業計画書及び収支予算書（添付4号様式）の記入例	18
資料7	実績報告書（第9号様式）の記入例	20
資料8	事業実施報告書（第10号様式）の記入例	21
資料9	収入内訳・支出内訳（添付5号様式）の作成手順と事業収支決算書（第11号様式）の記入例	22
資料10	領収書の注意点	25

## 1.はじめに

すみだ文化芸術活動助成金は、墨田区内（以下「区内」という。）を活動拠点とする文化芸術団体の事業に対し、助成金を交付することにより、墨田区民（以下「区民」という。）の文化芸術活動の活性化とその促進を図り、地域における文化芸術振興の発展に寄与することを目的とします。助成を希望する団体は、本募集要項をご確認の上、ご申請ください。

## 2. 申請できる団体（助成対象団体）

以下の要件をすべて満たしている文化芸術団体が助成対象団体となります。

- (1) 5人以上で構成され、かつ、区民が主体となって活動していること。
- (2) 区内に主たる事務所又は活動拠点を有すること。
- (3) 営利活動、政治活動又は宗教活動を目的としていないこと。
- (4) 原則として、区内において1年以上の継続した活動実績があること。
- (5) 団体の運営に関する定款、規約、会則等を定めていること。
- (6) 適切な会計処理が行われていること。

## 3. 対象となる事業（助成対象事業）

- (1) 広く区民等に公開される文化芸術事業
- (2) 墨田区の文化振興に寄与する公益性の高い事業
- (3) 原則として、墨田区内またはオンラインで行われる事業
- (4) 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに完了する事業
- (5) 採択事業は、1団体1事業とする

## 4. 対象とならない事業

- (1) 営利を目的とする事業
- (2) 特定の個人又は法人その他の団体の利益を図ることを目的とする事業
- (3) 政治、宗教又は選挙活動を目的とする事業
- (4) 他の団体等が主催する事業に参加する形態の事業
- (5) カルチャースクール等の教室、稽古事・習い事の講習会、発表会等

## 5. 助成金の額

助成対象経費の合計額の2分の1以内の額とし、100万円を限度とします。

ただし、1,000円未満切捨てになります。

（例）助成対象経費の合計額が100万円の場合、50万円が限度額です。

## 6. 助成対象となる経費（助成対象経費）

助成対象経費は、事業実施に係る以下の項目で、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに支払いが完了する経費とします。

助成対象経費	内容
出演料及び謝礼金	出演料、作品制作謝礼、演出料、舞台監督料、作曲・編曲料、著作権使用料など
会場設営費	作品展示・公演の設営・撤去に係る施工料・運搬費、大小道具費、舞台美術費、照明費、音響費、オンライン配信に係る撮影費、新型コロナウイルス感染拡大予防のための消耗品費など
使用料	展覧会・稽古・ゲネプロ・公演の会場使用料（付帯設備使用料等含む。）、機材等レンタル料、オンライン配信システム使用料など
印刷宣伝費	チラシ・ポスター・プログラム・図録等印刷費、デザイン・編集費、ウェブページ制作費、広告宣伝費、チラシ等送料など

※助成団体が、区立施設使用にあたって、会場使用料（付帯設備使用料等を除く）の減免を受けている場合、その会場使用料のうち助成団体が負担する経費は、助成の対象としません。

※事務所の維持費、助成対象事業の広報・実施の用途以外のホームページの作成運営費、通話料やインターネット通信費など、団体の経常的な運営に関わる経費は、助成の対象としません。

※領収書がないなど、支出の根拠が確認できない経費や事業実施に直接関わらない経費、社会通念上適切でない経費も対象と認められません。

※有料頒布するものの制作にかかる経費は助成の対象としません。

## 7. 申請に必要な提出書類

申請時に提出いただく書類一式は次のとおりです。必ず、令和3年度の様式をご利用ください。なお、各様式の電子データを希望される場合は、すみだ文化芸術情報サイトよりダウンロードください。 <https://www.sumida-bunka.jp/>

提出書類	備考
<input type="checkbox"/> 交付申請書（第1号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 事業実施計画書（第2号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 事業収支予算書（第3号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 収入内訳・支出内訳（添付1号様式）	Excelデータ有
<input type="checkbox"/> 団体の定款、規約、会則等の写し（任意様式）	
<input type="checkbox"/> 団体の代表者及び会員の氏名及び住所を記載した名簿（添付2号様式）	Excelデータ有
<input type="checkbox"/> 団体の直近の事業報告書及び収支決算書（添付3号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 団体の助成対象年度の事業計画書及び収支予算書（添付4号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 任意提出書類 団体の活動概要が分かるもの（パンフレット、会報等） ※A4サイズ片面3枚まで	

※上記以外の添付書類の受取はできません。

## 8. 提出方法と申請受付期間

### (1) 提出方法

申請書類はすべて片面印刷とし、まとめてダブルクリップでとめてください。ホチキス留め、ファイル綴じは不可とします。申請受付期間中に、墨田区文化振興財団助成事業担当宛に郵送でご提出ください。持込み、FAX、Eメール等での受取はできません。

【提出先】公益財団法人墨田区文化振興財団 助成事業担当

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3

※提出いただいた書類は返却できませんので、必ずコピーをお取りください。

### (2) 申請受付期間


令和3年1月4日（月）～1月29日（金）当日消印有効

### (3) 注意事項

申請受付期間終了後の申請書類の訂正等は、財団からの補正要請がないかぎり、一切お受けいたしませんので、ご注意ください。

## 9. スケジュール

助成事業の募集から報告までのスケジュールは、概ね以下のとおりです。

日程・期間	内容
令和3年1月4日（月）	助成申請受付開始
1月29日（金）	助成申請受付締め切り
2月上旬	申請書類の確認
2月下旬	選考委員による書類選考
3月上旬	ヒアリング、最終選考
3月中旬	助成団体の内定
4月1日	選考結果通知（郵送）
5月	助成金の交付請求～交付
令和3年度中	活動の実施
	
事業実施後30日以内または令和4年3月末のいずれか早い期日	事業実績報告書の提出
	助成金額の最終確定（残額がある場合、返還）

## 10. 申請書類の確認、助成事業の選考

財団が申請書類の確認を行ったうえで「すみだ文化芸術活動助成選考会」による選考を行います。書類選考を経てヒアリングを行ったうえで、助成団体候補を選考し、候補の中から、財団で助成団体を内定します。

### (1) 申請書類の確認

募集要件に該当しているかなど、財団内でチェックを行います。また、提出書類に不備がある場合、訂正していただくことがあります。なお、申請書類が募集要件に該当しない場合は、選考の対象外となります。

### (2) 書類選考

選考委員による書類選考を行います。採点方法は、各選考項目の合計を50点とし、まず、

各委員がそれぞれ採点を行います。そのうえで、各委員の採点を平均し、原則25点以上をヒアリング対象団体とします。

### (3) ヒアリング

選考委員によるヒアリングを、令和3年3月上旬（予定）に開催します。申請事業に対する質疑応答を含めたヒアリングを行いますので、申請事業の内容について、適正に回答できる方がご出席ください。

### (4) 最終選考

ヒアリングを踏まえ、非公開で最終選考を行います。採点方法は、各選考項目の合計を50点とし、まず、各委員がそれぞれ採点を行います。そのうえで、各委員の採点を平均し、原則25点以上の中から助成団体候補を選出します。また、助成金の額は、申請書の申請額を基本としますが、選考会において減額することがあります。

選考項目	選考基準
① 団体の資質	活動目的、活動ビジョン、過去の実績、将来性など
② 事業の公益性	広く区民が参加できる、区民の文化への意識向上など
③ 事業の芸術性	創造性、独創性、発展性など
④ 事業の計画性・運営面	事業の目的、実行力、自主性、業種別ガイドラインに則した新型コロナウイルス感染拡大予防対策やオンラインの活用などの工夫がされていることなど

### (5) 助成団体の内定

選考会の結果を踏まえて、財団で、助成団体を内定します。

## 11. 助成事業の実施にあたっての留意点

### (1) 事業実施の留意点

- ①事業実施にあたっては、原則として団体の責任において事業を遂行していただきます。
- ②事業実施の際に生じた事故・損害等に関して、財団は一切責任を負いません。
- ③特に個人情報の取り扱いや事業費の出納については、適正を期してください。
- ④事業実施のPR及び記録（団体が作成するポスター・チラシ・当日パンフレット・図録など）にあっては、「助成：すみだ文化芸術活動助成金」と、当事業からの助成により実施している旨を明記してください。記載がない場合、助成対象経費として認めないこともあります。

### (2) 財団の調査等

必要に応じて、財団は助成事業の実施状況について報告を求め、または調査することがあります。また、助成金の使途について、帳簿等の検査をすることがあります。

財団の報告や調査、検査の結果、助成事業が助成の交付決定の内容や交付条件に沿って実施されていないと認められた場合、交付決定の内容に適合させるよう指導等を行います。

### (3) 助成決定後の事業内容の変更・中止

助成事業は、申請時に提出した実施計画書・収支予算書に従って進めていただきます。そのため、申請の際は、実施内容、収支予算等十分に検討したうえで申請ください。やむを得ず、助成金の交付決定後に、助成事業の内容や、経費の配分を変えるなど収支予算書を変更しようとする場合は、変更申請が必要となりますので、必ず事前にご相談ください。（助成

金の増額はできません。)

なお、事業の中止の場合も、中止申請が必要となります。自然災害や紛争等、団体の責に因らない事業中止の場合を除いては、助成金を全額返還いただきます。

## 12. 助成事業の報告、助成金交付額の確定

### (1) 実績報告書の提出

助成事業が終了した日から30日以内または令和4年3月末のいずれか早い期日までに、以下の書類を提出ください。

なお、提出いただいた書類は、お返しできませんので、必ずコピーをお取りください。

提出書類	備考
<input type="checkbox"/> 実績報告書（第9号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 事業実施報告書（第10号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 事業実施の様子がわかる写真や画像（A4サイズ、2枚以内）	
<input type="checkbox"/> 事業収支決算書（第11号様式）	Wordデータ有
<input type="checkbox"/> 収入内訳・支出内訳（添付様式5号様式）	Excelデータ有
<input type="checkbox"/> 支出した <u>助成対象経費の領収書</u> や支払いを証明できる書類(写し可) ※1. 提出方法に指定があります。(参照：25ページの資料10) ※2. 助成対象外の領収書は不要です。	
<input type="checkbox"/> 事業の経過や成果を証明する書類（チラシ、パンフレット）	

### (2) 助成金交付額の確定

財団は、助成団体から提出された実績報告書を審査し、助成金交付額を確定して団体に通知します。確定した助成金交付額よりも、交付済助成金額が多い場合（残額が生じた場合）は、その分を返還していただきます。

### (3) 助成金の交付取消し・返還

助成団体が次のいずれかに該当すると認められるときは、財団は交付を取り消し、助成金を返還していただきます。

- ①偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- ②助成金を他の用途に使用したとき。
- ③助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。
- ④助成事業の実績報告を怠ったとき。

なお、助成金の交付取消しとなった団体については、翌年以降、2年間は助成金申請ができません。

## 13. 助成事業の実績の評価

財団の現場立会い及び提出された実績報告書をもとに評価します。

資料1：交付申請書（第1号様式）の記入例

令和3年〇〇月〇〇日

公益財団法人墨田区文化振興財団 理事長 宛

団 体 名 すみだ〇〇〇

団体所在地 墨田区吾妻橋 1-23-20

代 表 者 理事長 墨田 太郎



すみだ文化芸術活動助成金 交付申請書

代表者氏名は、肩書も記入  
ください。また、代表者印  
も忘れず押印ください。

すみだ文化芸術活動助成金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 事業名 ようこそ歌舞伎の世界へ

2 申請額 250,000円

3 添付書類

- (1) 事業実施計画書（第2号様式）
- (2) 事業収支予算書（第3号様式）
- (3) 収入内訳・支出内訳（添付1号様式）
- (4) 団体の定款、規約、会則等の写し（任意様式）
- (5) 団体の代表者及び会員の氏名及び住所を記載した名簿（添付2号様式）
- (6) 団体の直近年度の事業報告書及び収支決算書（添付3号様式）
- (7) 団体の補助対象年度の事業計画書及び収支予算書（添付4号様式）
- (8) 団体の活動概要が分かるもの（パンフレット、会報等）

(8)の任意提出書類の  
提出がない場合は、削除  
してください。



#### 4 団体の概要

(フリガナ)	スミダデントウゲイノノカイ		
団体名	すみだ伝統芸能の会		
代表者氏名	氏名	墨田 太郎	
	役職	理事長	
	住所	墨田区吾妻橋 1-〇-△	
所在地	住所	墨田区吾妻橋 1-〇-△	
	TEL	03-5608-〇△□◇	FAX 03-5608-〇〇〇〇
連絡責任者	氏名	墨田 次郎	
	住所	墨田区業平 1-〇-△	
	TEL	03-5608-〇〇〇〇	FAX 03-5608-〇〇〇〇
	E-mail	×××××△△△@sumida.jp	
団体の設立年月日	平成18年9月23日		申請時点において、1年以上の活動実績があることが要件です。
団体の設立目的	すみだ伝統芸能の会は、日本古来の様々な伝統芸能を子どもたちに身近に体験する場を設け、伝統芸能の継承や子どもたちの創造力の育成を目的として設立されました。		
会員数	18人		
会費	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (年額・月額 18,000円)		
主な活動地域	墨田区内		
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本舞踊のワークショップ 墨田区内の小中高校生を対象に、日本舞踊のワークショップ(各回〇名)を実施。事業開始当初は〇〇エリアのみでの開催だったが、現在は〇〇、〇〇にも実施会場を広げ、年間〇回のプログラムを提供。</li> <li>・日本伝統楽器の子どもたちへの指導と演奏会 墨田区内外の中高生が〇回の伝統楽器ワークショップを経て〇〇ホールで成果を発表する。参加者・鑑賞者ともに約半数は墨田区在住で、鑑賞者のリピーター率〇%。〇〇新聞に掲載された。</li> </ul>		
ホームページ	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (URL: www.〇〇〇〇〇〇.jp)		
機関紙の発行	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (発行間隔・部数: 年2回、各1,000部)		
直近事業年度の決算額	令和元年度 1,370,540円		

資料2：事業実施計画書（第2号様式）の記入例

すみだ文化芸術活動助成金 事業実施計画書

団 体 名 すみだ伝統芸能の会

行の幅など適宜変更し、原則A4サイズ2枚分に収めて記入ください。

1. 事業名	ようこそ歌舞伎の世界へ
2. 事業分野	<p>1 音楽に関する分野 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">1～5に○を付けてください。</span></p> <p>2 美術に関する分野</p> <p>3 舞踊・演劇に関する分野</p> <p>④ 伝統芸能に関する分野</p> <p>5 その他（ ）に関する分野</p>
3. 事業の目的	日本の伝統芸能である歌舞伎を、多くの子どもたちに見て体験する場を提供し、歌舞伎の楽しさを伝えること。
4. 事業の日程	令和3年7月24日（土）～令和3年11月7日（日）
5. 事業内容の概要	公募した小中学生を対象に、歌舞伎公演の動画視聴とレクチャー、歌舞伎のワークショップを行い、動画を撮影。編集した動画を保護者や地域住民に向けて配信する。
6. スケジュールと事業内容の詳細	<p>■公募 期間：6月1日（火）～6月30日（水） 募集人数：30名（墨田区在住の中学生以下）参加費：5,000円</p> <p>■レクチャー 日時：7月24日（土） 会場：〇〇コミュニティ会館 内容：歌舞伎の実演映像を視聴し、歌舞伎および演目で取り上げる地域の歴史について、基礎知識のレクチャーを受ける 講師：〇〇（歌舞伎俳優）、〇〇（郷土歴史家）</p> <p>■ワークショップ 期間：8月～10月 3回×3グループ、合同1回（計10回） 会場：〇〇コミュニティ会館、他 内容：第1回：基本動作を学ぶ 第2回：基本動作を学ぶ 第3回：基本動作を応用して各グループ1場面を演じる 合同：グループごとに練習した場面を動画収録。 他のグループの上演を見学する。 講師：〇〇（歌舞伎俳優）</p> <p>■配信 期間：12月中旬～令和4年2月中旬 視聴料：無料</p>

7. 運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局 3名（企画・制作 1名、広報 1名、会計 1名）</li> <li>・技術スタッフ（舞監・音響・照明） 5名</li> <li>・当日運営（会場整理等） 3名</li> <li>・外部講師 3名</li> </ul>
8. 広報計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体、SNS 等での発信</li> <li>・協力団体等のウェブサイトの掲載</li> <li>・参加者募集チラシ 3,000 枚の配布</li> </ul>
9. 新型コロナウイルス感染拡大予防対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップは、10 人×3 グループに分けて、換気のよい会場で、対面になることを避けて実施する。</li> <li>・レクチャーおよびワークショップは、講師・スタッフ・参加者ともに、会場入口で検温・消毒を徹底し、最終回の収録時を除いてマスクまたはフェイスシールドを着用する。</li> <li>・ワークショップ最終回の収録時は、演者と見学者の距離、客席同士の距離を十分に取り、見学者はマスク着用とする。</li> <li>・これまで保護者や地域住民への発表はホールで行なってきたが、感染拡大予防のため、動画配信とする。</li> </ul>
10. 期待される成果	<p>参加した子どもたちが、歌舞伎に興味を持つとともに、歌舞伎をとおして伝統芸能の楽しさを学び、表現力などの感性を高める。また、墨田区ゆかりの演目を通して、地元の歴史や文化への興味を高める。</p>
11. 事業と区民・地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の小中学生から参加者を募集する。</li> <li>・収録動画をウェブサイトで公開することで、区民に広く公開する。</li> <li>・区内の伝統芸能や郷土文化に関する団体と広報等で連携し、区内の伝統芸能の振興を相互に高める。</li> <li>・墨田区にゆかりのある演目を上演する。</li> </ul>
12. 事業の次年度以降の取組予定など、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年に実施する回数を増やし、多くの子どもたちが参加できるようにする。</li> <li>・動画や資料集などのオンライン教材を開発して、感染拡大予防をしながら、歌舞伎の魅力を伝えられるようにしていく。</li> <li>・歌舞伎以外の伝統芸能を事業展開していく。</li> </ul>

資料3：収入内訳・支出内訳（添付1号様式）の作成手順と事業収支予算書（第3号様式）の記入例

- (1) シート「収入内訳」を選択し、団体名、項目（選択式）、適用、金額を入力します。  
 入力が終わったら、項目ごとに収入日順に並べ替えてください。

収入内訳 (添付1-1号様式)		団体名:	
	項目	適用	金額
1	会費	会費	250,000
2	入場料・参加費	参加費5,000円×参加人数30名	150,000
3	寄付金・協賛金・助成金等	広告協賛金 10,000円×10社	100,000
4	すみだ文化芸術活動助成金	すみだ文化芸術活動助成金（申請額）	400,000

- (2) シート「助成対象経費支出内訳」を選択し、項目（選択式）、適用、金額を入力します。  
 入力が終わったら、項目ごとに収入日順に並べ替えてください。

助成対象経費支出内訳 (添付1-2号様式)		団体名:	
	項目	適用	金額
1	出演料及び謝礼金	講師謝金（歌舞伎俳優）	200,000
2	出演料及び謝礼金	講師謝金（郷土歴史家）	20,000
3	会場設営費	発表会会場設営・撤去	30,000
4	会場設営費	撮影編集費	150,000
5	会場設営費	マスク・消毒液	10,000
6	使用料	レンタル衣装費（〇着）	200,000

- (3) シート「助成対象経費外支出内訳」を選択し、項目、適用、金額を入力します。  
 入力が終わったら、項目ごとに収入日順に並べ替えてください。

助成対象外経費支出内訳 (添付1-3号様式)		団体名:	
	項目	適用	金額（円）
1	事務費	コピー用紙、トナー	20,000
2	使用料	ワークショップ会場（減免）10回	50,000

- (4) 収入と支出の入力が終わったら、シート「収支予算書」を選択してください。自動計算された合計額が表示されています。この金額を収支予算書（第3号様式（表））に転記してください。

資料4：団体の代表者及び会員の氏名及び住所を記載した名簿（添付2号様式）の記入例

添付2-1号様式

役員名簿

団体名：すみだ伝統芸能の会

No	役職	氏名	住所	備考
1	理事長	墨田 太郎	墨田区吾妻橋 1-23-20	
2	副理事長	墨田 次郎	墨田区業平 1-〇-△	
3	理事	よこあみ さぶろう	墨田区横網 1-△-〇	
4	理事	みどり あいこ	墨田区緑 1-△-〇	
5	理事	たちばな きょうこ	墨田区立花 2-△-〇	
6	監事	よこかわ しろう	墨田区横川 3-△-〇	
7				
8				
9				
10				

## 会 員 名 簿

団体名：すみだ〇〇〇

会員数		18
内訳	在住	15
	在学	1
	在勤	1
	それ以外	1

会員数、内訳は自動計算

在住・在勤・在学・それ以外から選択してください。

No	氏名	在住・在勤・ 在学・それ以外	住所	備考
1	墨田 太郎	在住	墨田区吾妻橋 1-23-20	
2	墨田 次郎	在住	墨田区業平 1-〇-△	
3	よこあみ さぶろう	在住	墨田区横網 1-△-〇	
4	みどり あいこ	在住	墨田区緑 1-△-〇	
5	たちばな きょうこ	在住	墨田区立花 2-△-〇	
6	よこかわ しろう	在住	墨田区横川 3-△-〇	
7	〇〇 ××	在学	渋谷区渋谷 1-〇-△	
8	〇〇 ××	在勤	江東区千石 1-〇-△	
9	〇〇 ××	それ以外	海外在住	
10	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
11	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
12	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
13	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
14	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
15	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
16	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
17	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	
18	〇〇 ××	在住	墨田区〇■ 1-〇-▲	

## 令和元年度事業報告書及び収支決算書

令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

団体名 すみだ伝統芸能の会

1 事業の成果

年間の事業成果を統括してご記入ください。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	参加者数	事業費 (千円)
〇〇事業	△△△△△△△	R1.xx.xx	〇〇	30名	310
××事業	×××××××	R1.xx.xx	■ ■	45名	400
△△事業	×××××××	R1.xx.xx	△△	30名	200
□□事業	〇〇〇〇〇〇〇	R1.xx.xx	××	100名	250
■ ■ 事業	▲▲▲▲▲▲▲	R1.xx.xx	××	200名	420

3 収支決算書

収入=支出にすること。

収入 (A)	1,774,000 円
支出 (B)	1,774,000 円

項目		決算額 (円)	内訳
収 入	参加費	720,000	参加費 12,000 円×60 名
	会費	324,000	年会費 18,000 円×18 名
	助成金	500,000	〇〇文化財団助成金
	協賛金	150,000	一口 10,000 円×15 社
	前年度繰越金	30,000	
	その他	50,000	謝金収入
	総収入 (A)	1,774,000	
支 出	出演料及び謝礼金	600,000	講師謝礼 150,000 円×4 件
	会場設営費	100,000	舞台設営 25,000 円×4 件
	使用料	800,000	会場使用料 100,000 円×4 件 レンタル衣装 150,000 円×2 件 その他レンタル 100,000 円
	印刷宣伝費	50,000	チラシ・ポスター印刷 12,500 円×4 件
	通信運搬料	30,000	郵送料・宅配便
	回線使用料・HP維持費	72,000	HP 管理費 年間 36,000 円 プロバイダー料金 年間 36,000 円
	事務費	95,000	事務用品の購入
	次年度繰越金	27,000	
		総支出 (B)	1,774,000



## 令和3年度事業計画書及び収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

団体名 すみだ伝統芸能の会

1 事業実施の方針

年間の事業方針と事業実施による想定される成果もあわせて簡潔に記入ください。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定日時	実施 予定場所	予定 参加者数	支出見込額 (千円)
〇〇事業	△△△△△△△			30名	300
すみだ文化芸術活動助成金の申請事業も記入ください。					
□□事業	日本の伝統芸能である歌舞伎を、多くの子どもたちに見て体験する場を提供し、歌舞伎の楽しさを伝えること	R3. 6/1 ～12月	〇〇ホール等	WS30名 配信300PV	900
△△事業	××××××××	R3. 9/23	△△	30名	200
■ ■ 事業	▲▲▲▲▲▲▲▲	R4. 1/20	××	100名	421

3 収支予算書


収入=支出にすること。

収入 (A)	1,951,000円
支出 (B)	1,951,000円

項目		予算額 (円)	内訳
収入	会費	324,000	年会費18,000円×18名
	参加費・入場料	550,000	参加費5,000円×30名×3講座=450,000 1,000円×100名=100,000円
	助成金	750,000	すみだ文化芸術活動助成金400,000円 〇〇助成金 350,000円
	協賛金	300,000	協賛 100,000円 広告協賛 10,000円×20社
	前年度繰越金	27,000	
	その他		
	総収入 (A)	1,951,000	
支出	出演料及び謝礼金	300,000	講師謝礼 200,000円×1名 20,000円×5名
	会場設営費	310,000	舞台設営 60,000円 撮影編集音響 200,000円 消耗品・材料費 50,000円
	使用料	820,000	会場使用料 400,000円 付帯設備使用料 20,000円 レンタル衣装 300,000円 機材レンタル 100,000円
	印刷宣伝費	350,000	チラシ・ポスターデザイン費150,000円 チラシ・ポスター印刷 100,000円 チラシ・ポスター郵送費 100,000円
	通信運搬費	90,000	郵送料・電話料金 30,000円 HP管理費 30,000円 プロバイダー料金 30,000円
	事務費	50,000	事務用品 50,000円
	次年度繰越金	31,000	
	総支出 (B)	1,951,000	

すみだ文化芸術活動助成金の申請額も記入ください。

資料7：実績報告書（第9号様式）の記入例

令和〇〇年〇〇月〇〇日
公益財団法人墨田区文化振興財団 理事長 宛
団 体 名 <u>すみだ〇〇〇</u>
団体所在地 <u>墨田区吾妻橋 1-23-20</u>
代 表 者 <u>理事長 墨田 太郎</u> 

すみだ文化芸術活動助成金 助成事業実績報告書

すみだ文化芸術活動助成金からの助成を受けた事業が完了したので、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記


- 1 事業名 ようこそ歌舞伎の世界へ
- 2 助成金の交付決定額 400,000円
- 3 添付書類
  - (1) 実施報告書（第10号様式）
  - (2) 事業実施の様子がわかる写真や画像（任意様式）
  - (3) 収支決算書（第11号様式）
  - (4) 収入内訳・支出内訳（添付様式5号様式）
  - (5) 助成事業に要した助成対象経費の領収書等の写し（任意様式）
  - (6) その他、事業の内容及び成果を表す資料（任意様式）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

提出日は、事業終了後30日以内または令和4年3月末のいずれか早い日以内であること。

団 体 名 すみだ〇〇〇

団体所在地 墨田区吾妻橋 1-23-20

代 表 者 理事長 墨田 太郎 

代表者氏名は、肩書も記入ください。  
また、代表者印も忘れず押印ください。

すみだ文化芸術活動助成金 助成事業実績報告書

すみだ文化芸術活動助成金からの助成を受けた事業が完了したので、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

- 1 事業名 ようこそ歌舞伎の世界へ
- 2 助成金の交付決定額 400,000円
- 3 添付書類
  - (1) 実施報告書（第10号様式）
  - (2) 事業実施の様子がわかる写真や画像（任意様式）
  - (3) 収支決算書（第11号様式）
  - (4) 収入内訳・支出内訳（添付様式5号様式）
  - (5) 助成事業に要した助成対象経費の領収書等の写し（任意様式）
  - (6) その他、事業の内容及び成果を表す資料（任意様式）

(A4)

すみだ文化芸術活動助成金 助成事業実施報告書

団体名 すみだ伝統芸能の会

事業名	ようこそ歌舞伎の世界へ
実施日	令和3年6月*日（*）～令和4年2月*日（*）
事業内容の概要	公募した小中学生を対象に、歌舞伎公演の動画視聴とレクチャー、歌舞伎のワークショップを行い、動画を撮影。編集した動画を保護者や地域住民に向けて配信した。
事業内容の詳細	<p>■公募 期間：6月*日（*）～6月*日（*） 定員：30名 参加費：5,000円</p> <p>■レクチャー 日時：7月*日（土） 会場：〇〇コミュニティ会館 内容：歌舞伎の実演映像を視聴し、歌舞伎および演目で取り上げる地域の歴史について、基礎知識のレクチャーを実施。 講師：〇〇（歌舞伎俳優）、〇〇（郷土歴史家） 参加者数：30名</p> <p>■ワークショップ 期間：A班：①8月*日（土）、②9月*日（土）、③10月*日（土） B班：①8月*日（日）、②9月*日（日）、③10月*日（日） C班：①8月*日（土）、②9月*日（土）、③10月*日（土） 合同：10月*日（土） 会場：第1～3回：〇〇コミュニティ会館 合同会：〇〇ホール 内容：第1回：基本動作を学ぶ 第2回：基本動作を学ぶ 第3回：基本動作を応用して各グループ1場面を演じる 合同：グループごとに練習した場面を動画収録。他のグループの上演を見学。 講師：〇〇（歌舞伎俳優） 参加者数：A班：①*名、②*名、③*名 B班：*名、②*名、③*名 C班：①*名、②*名、③*名 合同：*名</p> <p>■配信 期間：12月*日（*）～2月*日（*） 配信方法：すみだ伝統芸能の会のウェブサイトに掲載 視聴料：無料 再生回数：***回</p>
参加者・鑑賞者の反応	<p>■参加した小中学生・保護者の反応 ・実施後アンケートでは*%の参加者が「とても面白かった」と回答し、*%の参加者が「今後も歌舞伎について学びたい」、*%が「すみだの歴史に興味をわいた」と回答した。 ・保護者からは今後の展開について「****」というリクエストがあった。</p> <p>■視聴者の反応 ・動画を、***サークルのSNSで発信してもらったことで、***に関心のある人にもみってもらうことができ、「****」というコメントをいただいた。</p>
事業の成果	参加した子どもたちが、歌舞伎の楽しさと地元の歴史を学ぶことができた。保護者をはじめ地域の方々にも見ていただく機会を提供でき、今後の展開に関するアイデアもいただけた。また、動画制作・配信に取り組んだことで、過去の記録を次のPRに活用することができるようになった。今後は、***していきたい。

いつ・どこで・だれが・なにを実施したのかがわかるように記述してください。

参加者アンケートの結果や、参加者からいただいた反応などを踏まえて記入してください。

事業実施による成果と今後の展望も記入ください。

資料9：収入内訳・支出内訳（添付5号様式）の作成手順と事業収支決算書（第11号様式）の記入例

(1) Excelデータの「事業収支決算書計算用.xls」を開きます。シート「収入内訳」を選択し、団体名、収入日、項目（選択式）、適用、金額を入力します。入力が終わったら、項目ごとに収入日順に並べ替えてください。

収入内訳 (添付5-1号様式)		団体名:		
	収入日	項目	適用	金額
1	R3.4.1	会費	会費積立分	270,000
2	R3.7.30	入場料・参加費	参加費5,000円×参加人数30人	150,000
3	R3.5.10	寄付金・協賛金・助成金等	広告協賛金 10,000円×8社	80,000
4	R3.5.30	すみだ文化芸術活動助成金	すみだ文化芸術活動助成金	400,000

(2) シート「助成対象経費支出内訳」を選択し、支出日、項目（選択式）、適用、金額を入力します。入力が終わったら、項目ごとに収入日順に並べ替えてください。

助成対象経費支出内訳 (添付5-2号様式)		団体名:		
	支払日	項目	適用	金額
1	R3.8.1	出演料及び謝礼金	講師謝礼（郷土歴史家）	20,000
2	R3.11.1	出演料及び謝礼金	講師謝礼（歌舞伎俳優）	200,000
3	R3.7.1	会場設営費	マスク・消毒液	5,000
4	R3.9.10	会場設営費	マスク・消毒液・フェイスシールド	5,000
5	R3.11.1	会場設営費	会場設営・撤去	30,000
6	R4.2.20	会場設営費	撮影編集費	120,000

(3) シート「助成対象経費外支出内訳」を選択し、支出日、項目、適用、金額を入力します。入力が終わったら、項目ごとに収入日順に並べ替えてください。

助成対象外経費支出内訳 (添付5-3号様式)		団体名:		
	支払日	項目	適用	金額（円）
1	R3.4.30	事務費	コピー用紙、封筒、宛名ラベル	8,000
2	R3.9.10	事務費	コピー用紙、トナー	2,000
3	R3.7.10	使用料	ワークショップ会場 (〇〇会館 *月*日)	5,000
4	R3.8.1	使用料	ワークショップ会場 (〇〇会館 *月*日、*月*日、*月*日)	15,000

(4) 収入と支出の入力が終わったら、シート「収支予算書」を選択してください。自動計算された合計額が表示されています。この金額を収支決算書（第11号様式）に転記してください。

すみだ文化芸術活動助成金 助成事業収支決算書

団 体 名 すみだ伝統芸能の会

1 収支決算書

収入=支出にすること

総収入 (A)	900,000 円
総支出 (D = C + B)	900,000 円

項 目		予算額 (円)	決算額 (円)	内訳 (積算根拠)	
収 入	会費	250,000	270,000	会費積立分	
	入場料・参加費	150,000	150,000	参加費 5,000 円×参加人数 30 名	
	寄付金・協賛金・助成金等	100,000	80,000	広告協賛金 10,000 円×8 社	
	すみだ文化芸術活動助成金	400,000	400,000		
	その他				
	<b>総収入 (A)</b>	<b>900,000</b>	<b>900,000</b>		
支 出	助成対象経費	出演料及び謝礼金	220,000	220,000	講師謝礼 200,000 円×1 名 20,000 円×1 名
		会場設営費	190,000	160,000	会場設営・撤去 30,000 円 撮影編集費 120,000 円 マスク・消毒液 10,000 円
		使用料	320,000	330,000	レンタル衣装費 200,000 円 発表会会場使用料 100,000 円 付帯設備使用料 30,000 円
		印刷宣伝費	100,000	130,000	チラシデザイン費 50,000 円 チラシ印刷費 30,000 円 チラシ郵送費 50,000 円
		<b>小計 (B)</b>	<b>830,000</b>	<b>840,000</b>	
	助成対象外経費	事務費	20,000	10,000	コピー用紙、トナー等 10,000 円
		使用料	50,000	50,000	ワークショップ会場使用料 (減免) 5,000 円×10 回
		<b>小計 (C)</b>	<b>70,000</b>	<b>60,000</b>	
<b>総支出 (D)</b>	<b>900,000</b>	<b>900,000</b>			

## 資料10：領収書の注意点

### 1. 領収書の記載事項について

(①～⑥を満たさない領収書は不備とし、助成金経費対象外となります。)

領収書	令和 ○年 ○月 ○日 ①
すみだ○○○ 様 ②	
¥ 55,000 - ③	印紙 ⑤ 印
但 ○○代として ④ 上記正に領収いたしました。	
内訳 税抜金額 50,000円 消費税等 5,000円	東京都○○区○○町○○○ ⑥ ○○ ○○ 印

①日 付：領収書の発行日

②宛 名：領収書を受け取る団体の正式名称。「上様」は認められません。

③金 額：金額の記載は、改正や改ざんができないようにするために、以下の3パターンのうちどれかを用いてください。

(a) ¥○○○, ○○○※ (b) 金○○○, ○○○也 (c) ¥○○○, ○○○—

④但し書き：何に対する支払いなのかが分かるように明記ください。

「品代として」という表記は、認められません。

⑤印 紙：金額が5万円以上の場合は、収入印紙が必要です。

⑥発 行 元：領収書を発行する側の住所と氏名が記入され、認め印が押印されていることを確認ください。

### 2. 領収書の写しの提出方法

(1) 予算項目（出演料及び謝礼金、会場設営費、使用料、印刷宣伝費）に分けてください。

(2) A4サイズに、支出日順に領収書（写し）を貼り付け、添付5号様式との対応がわかるように、ナンバーを振ってください。スキャンデータをメールにてお送りください。

(3) 記載事項に不備がないか確認してお返事します。不備があれば修正して、原本と一っしょに郵送にて提出してください。

※原本は、実績報告書の審査終了後に返還します。

項目：出演料及び謝礼金		項目：会場設営費	
1	領収書 9/18	1	領収書 10/1
2	領収書 9/19	2	領収書 10/7